

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 寿山 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和元年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61	53.61
本市	16.56	20.49	33.51	42.17	52.49	9.39	153.34	22.91	54.52

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59
本市	16.49	19.55	38.14	40.49	42.02	9.64	147.47	13.79	56.34

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<p>○体育の授業ではたくさん活動を行っており、全国平均を大きく上回っている。活動量を意識した授業の展開が図られている。</p> <p>○体育の学習では、めあてが提示され計画的な授業が行われている。また、話し合い活動も位置づけられ目的意識をもった学習が行われていることが分かる。学習の最後には振り返る活動も定着している。</p> <p>○体育の学習では、友達同士協力し、助け合っている活動を行っている。</p> <p>○睡眠時間は十分に取れている児童が多いが、朝食をしっかりと食べることについては課題がある。</p>

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

<p>○体育の授業の準備運動にジャンプアップ運動を全学級で取り入れており、継続して行っている。</p> <p>○体を動かす活動の時間を一単位時間25分以上確保している。</p> <p>○授業のはじめに『めあて』を提示し目的をもって運動技能の改善に取り組む学習を進めている。また、「まとめ」「振り返り」を行うことで自分の成長や課題に目を向けるようにさせている。</p>

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

<p>○毎週火曜日の中休みに『寿山タイム』を設定し、職員と体育委員会の児童が中心になって縄跳びやドッチボールラリーの活動を進めた。準備も活動も習慣化し定着している。また、寿山タイムで取り組んだ競技の記録を測定し、グループ毎に集計し活動への意欲を高め外遊びの習慣につないでいる。</p> <p>○3学期は中休みに「ランランタイム」を設定し10分間走をすることで、児童の持久力向上を図っている。</p>
